

## 13 切迫感を伝えるための工夫

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
		<input checked="" type="checkbox"/> 呼びかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 災害の切迫
自治体	茨城県境町		

問合せ先：茨城県境町 防災安全課

### 取組概要

- 災害犠牲者「ゼロ」を目指し、「**自らの命は自ら守る**」の方針のもと、**自主的な避難を推奨**。
- 災害時には、**町長・副町長の肉声による避難の呼びかけ**や、**消防団の巡回による避難の呼びかけ**を実施してきた。

### 取組のきっかけ

- 平成27年関東・東北豪雨での被災や、平成22年に公表された利根川氾濫シミュレーション、平成29年に公表された利根川の想定最大規模の浸水想定をきっかけに、人的被害をゼロとするための各種取組を実施した。

### 取組のポイント

#### <避難の呼びかけ>

- 令和元年東日本台風の際に、**利根川の画像を適時にホームページに掲載し、氾濫の危険性が迫っていることを周知した。**
- 警戒レベル4 避難指示（緊急）の発令において、**町長が直接、防災行政無線を通じて、避難の呼びかけを実施。また、外国人に対して、副町長が英語で呼びかけを実施した。**
- **町長自らの肉声で放送したことで、多くの住民が真に危険な状態が迫っていると認識し、避難行動をとった。**
- 消防団が行政区内を車両で巡回して、マイクによる避難の呼びかけを行う際に、「**この後、消防団も避難する**」こともあわせて放送し、**危険が迫っていることを認識させ避難を促した。**

▼利根川の様子



▼避難所内の状況



### 取組の効果

- こうした取組を受けて、令和元年東日本台風においては、避難指示（緊急）が発令された地域の住民のうち、**66%(約5,900人)が何らかの避難行動をとった。**